

JUSTワークショップ —リモートセンシング技術の利用—

平成10年10月26日から28日まで、つくば市において、当研究所と米国NASAとの共催で「自然災害軽減のためのリモートセンシング技術の利用に関するワークショップ」を開催し、国内外のリモートセンシング技術関係者約100人の参加がありました。

このワークショップは、日米科学技術協力協定地球科学及び地球環境分野の活動の一環として、日米両国の第一線の研究者が、防災分野におけるリモートセンシング技術の利用に関する研究の現状と今後の研究の方向について、意見・知識の交換及び集中的な討議を行い、これからの研究協力のあり方と協力すべき研究テーマ等について検討するもので、日米協力の一層の推進を図ることを目的としています。

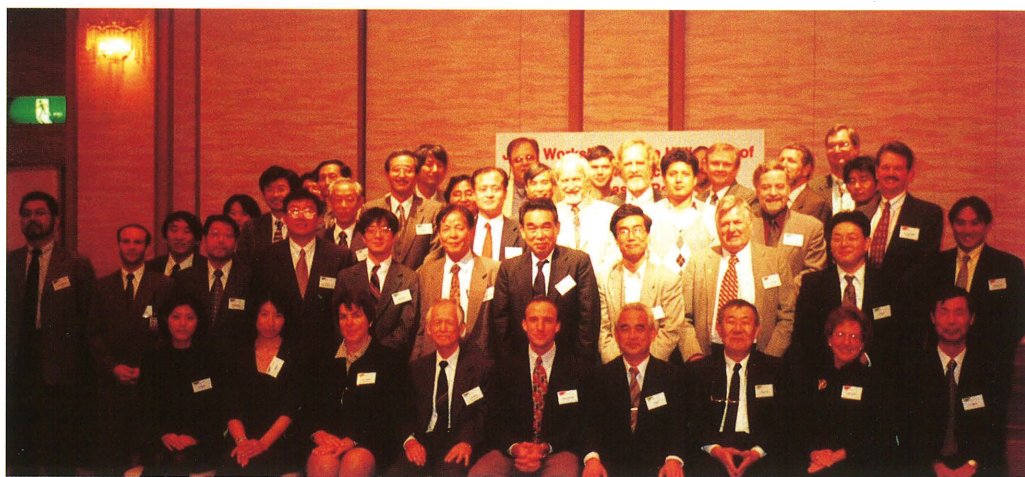
ワークショップでは、基調講演に続き、地震・火山・津波・洪水等をキーワー



報告を行う外国人研究者

ドにした9つのセッションが行われ、出席した日米などの研究者からリモートセンシング技術を利用した災害管理支援に関する地球観測技術の研究の現状等について報告がありました。最後の全体会議では、今後の日米協力による研究の方向について意見交換が行われ、「地形変化の抽出に関する研究」、「リモートセンシングの文献データベースの開発」等を積極的に推進することを確認して、成功裏に終了しました。

(問い合わせ先：管理部企画課)



ワークショップ参加者